

Executive Cotton Update

U.S. Macroeconomic Indicators &
the Cotton Supply Chain



October 2026

www.cottoninc.com

マクロ経済概観:個人消費が引き続き米国の GDP 成長を支えている。入手可能な最新の政府統計データ(8 月分)では、実質消費支出は前年比 2.6%増であった。これは長期平均(2008 年以降 2.2%)、2026 年平均(2.3%)を上回る水準である。消費者信頼感指数が過去 10 年余りで最低の水準に低下し消費者がインフレに苦しむ中、実質賃金の伸びが圧迫されていることを踏まえれば、消費支出の伸びがそれらの平均を上回る水準であることは注目すべき点である。

こうした課題がある中でも個人消費が堅調に推移している背景として、いくつかの点が挙げられている。その 1 つが資産効果である。住宅価格の中央値と株式市場は過去最高に近い水準で推移している。そうした資産を保有する消費者にとって資産価値は上昇しており、それが消費に対する安心感につながっていると考えられる。

堅調な個人消費の背景として、貯蓄率の低下も挙げられるだろう。個人貯蓄率は 2024 年 1 月に 7.2%のピークを付けて以降、4.1%(8 月)まで低下している。コロナ禍の景気刺激策実施後インフレが急上昇した 2022 年には、貯蓄率は数カ月にわたり 4.0%を下回っていた。足元の貯蓄率は、2022 年を除いて金融危機(2006 年～2008 年)前以来の低水準となる。

米国の全世帯が住宅や株式を保有しているわけではなく、貯蓄率の低下にも限界がある。そのため、平均を上回る支出の伸びの維持に必要な消費能力について、懸念が生じる可能性がある。ただ、衣料品支出の伸びは消費支出総額の伸びより高い。裁量的支出の対象となる品目を含んでいるにもかかわらず、衣料品支出の伸び率は前年比で消費支出総額の伸び率を上回っている。

雇用:9 月の米国雇用者数は 2 万 9,000 人増(推定値)であった。増加ペースは 8 月速報値の 16 万 2,000 人増から大幅に鈍化した。過去 2 カ月分は下方修正された。7 月は 3 万 1,000 人の下方修正で 1 万人減、8 月は 16 万 2,000 人増から 2 万 9,000 人の下方修正で 13 万 3,000 人増となった。過去 12 カ月平均(2025 年 10 月～2026 年 9 月)は約 4 万 1,000 人増となった。

失業率は前月比で 4.1%から 4.2%と僅かに上昇した。雇用の鈍化にもかかわらず、失業率は歴史的な低水準にとどまっている。コロナ禍前後の変動の大きかった時期を除き、失業率は 2016 年以降 5%を下回って推移しており、5%を下回る期間として 1940 年代後半の統計開始以来の最長を記録している。

9 月の平均時給は前年比 3.0%増となり、2022 年年初以降の鈍化傾向が続いた。コロナ禍前後の変動の大きかった時期を除いて、2019 年 12 月以降で最も低い伸びとなった。4 月以降毎月、インフレ率は賃金上昇率を上回って推移している。これは実質賃金が圧迫されている状況が続いていることを意味し、個人消費に影響する可能性を示唆している。

消費者信頼感指数と消費支出:全国産業審議会による消費者信頼感指数は小幅な変動が続いていたが、9 月は 16 カ月ぶりの大幅な変動となった(6.7 ポイント低下の 81.9)。この数値は 2014 年以降の低水準となる。消費者信頼感指数を注視する理由の 1 つは、消費支出との関連性にある。信頼感指数は 2018 年以降、概ね低下傾向をたどっている。同期間において個人消費は増加しているが、信頼感指数の低下と実質賃金が圧迫されている状況を受け、支出の伸びの維持に必要な消費意欲と消費能力について懸念が生じている。

消費支出総額(インフレ調整後)は前月比で、7 月のほぼ横ばい(0.1%増)から 8 月は 0.6%の増加となった。前年比は 2.6%増で過去 12 カ月平均(2.3%)を上回った。

8 月の衣料品支出(インフレ調整後)は前月比で 1.3%増となった。前月比では 2023 年 12 月以来 2 年半ぶりの高い伸びとなる。前年比は 3.9%増となった。これは複数年平均の約 2 倍の伸びであり、高い伸びを記録した前年からさらに増加している。2025 年 8 月の衣料品支出は前年比で 8.7%増であった。

消費者物価と輸入データ:8 月の衣料品 CPI は、前月比で 2 カ月連続の低下(6 月は 0.6%低下、7 月は 0.03%の僅かな低下)から小幅な上昇となった(0.1%上昇)。前年比では 3.7%上昇と過去数十年の平均を上回る伸びとなった。足元の水準は 1999 年以降で最も高くなっている。2024 年年初から 2025 年第 3 四半期までの期間、衣料品 CPI の前年比の上昇率は平均で 0.8%であった。2026 年 2 月以降の前年比平均上昇率は 3.9%となっている。

8 月の綿リッチ製品の平均輸入価格(平方米換算当りドル、季節調整値)は前月比で上昇した(7 月の 3.71 ドルから 8 月 3.77 ドルへ)。平均輸入価格(季節調整値)は 2023 年後半以降概ね横ばいで推移している。ただ、それらの輸入価格には関税は含まれていない。米国の大半の貿易相手国・地域への関税率は、2024 年の水準よりも 10～12.5%高くなっている。

U.S. Macroeconomic & Cotton Supply Chain Charts

Macroeconomic Indicators		Spending & Sourcing	Textiles	Currencies & Cotton	
GDP Growth	Consumer Conf.	Consumer Prices	Apparel Imports	Weighted Index	Europe
Interest Rates	Housing	Consumer Spending	U.S. Textile Production	Asia	Fiber Prices
ISM Indices	Employment	Inventory/Sales	U.S. Textile Exports	The Americas	
Leading Indicators	Income & Savings		Polyester PPI		

Executive Cotton Update

U.S. Macroeconomic Indicators & Cotton Prices
10月 2026



'マクロ経済データ

四半期統計	近年平均				直近四半期			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	Q4 : 2025	Q1 : 2026	Q2 : 2026		
実質国内総生産（GDP）成長	2.9%	2.6%	2.5%	2.2%	0.2%	2.5%	2.2%	四半期対比、%変化	米国商務省

9月の最新データを含むマクロ経済シリーズ

	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	7月	8月	9月		
ISM 製造業景気指数	50.6	52.3	54.1	54.9	55.6	54.6	54.5	指数	Institute for Supply Management
ISM 非製造業景気指数	54.0	54.1	54.4	54.8	54.1	55.4	54.9	指数	Institute for Supply Management
消費者態度（信頼度）指数	101.2	91.0	89.6	86.9	90.2	88.6	81.9	指数	全米産業審議会
非農業部門雇用推移	187.9	41.3	65.7	50.7	-10.0	133.0	29.0	雇用の増減、1、000職単位	労働統計局
完全失業率	4.0%	4.3%	4.2%	4.1%	n/a	4.1%	4.2%	率	労働統計局
米国金利									
フェデラル・ファンド	3.8%	3.7%	3.7%	3.7%	3.6%	3.6%	3.8%	金利	米連邦準備理事会
10年物短期国債	3.8%	4.4%	4.6%	4.8%	4.6%	4.7%	5.0%	金利	米連邦準備理事会

8月の最新データを含むマクロ経済シリーズ

	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	6月	7月	8月		
景気先行指数	107.6	99.5	99.5	99.6	99.6	99.6	99.5	指数	全米産業審議会
住宅着工戸数	1.4	1.3	1.4	1.3	1.4	1.3	1.3	年間ベース、100万戸	米国商務省
中古住宅販売戸数	4.4	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	年間ベース、100万戸	全米不動産業協会

8月の最新データを盛り込んだ産業・繊維シリーズ

	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	6月	7月	8月		
米国工業生産指数	100.9	102.0	102.7	103.0	101.5	101.9	103.1	指数、2002年=100	米連邦準備理事会
ポリエステル繊維生産者価格指数	154.3	162.7	165.7	166.8	167.8	166.4	166.4	指数、2003年12月=100	労働統計局

8月の最新データを盛り込んだ産業・繊維シリーズ

	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	5月	6月	7月		
米国の綿糸輸出	2.7	1.5	1.5	1.4	1.5	1.5	1.3	480ポンド俵換算（季節調整済み年率換算）	USDA

8月の最新データを盛り込んだ産業・繊維シリーズ

	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	6月	7月	8月		
米国紡績・在庫/出荷比率	1.7	1.7	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	比率	米国商務省

小売統計

8月の最新データを含む小売関連シリーズ	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	6月	7月	8月		
米国実質消費者支出									
全品目及びサービス	3.0%	2.3%	2.4%	2.5%	2.7%	2.3%	2.6%	前年対比、%変化	米国商務省
衣料品	3.8%	5.0%	4.1%	3.9%	4.2%	3.6%	3.9%	前年対比、%変化	米国商務省
消費者物価指数									
総合	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	6月	7月	8月		
	4.4%	3.2%	3.7%	3.4%	3.5%	n/a	3.4%	前年対比、%変化	労働統計局
衣料品	3.2%	3.0%	4.1%	3.8%	3.9%	n/a	3.7%	前年対比、%変化	労働統計局

7月の最新データを含む小売関連シリーズ

	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	5月	6月	7月		
小売業・在庫/販売比率									
衣料品店及び衣料品・アクセサリー店	2.2	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	2.1	比率	米国商務省
衣料品卸売業者	2.3	2.1	2.1	2.0	2.1	2.0	2.0	比率	米国商務省

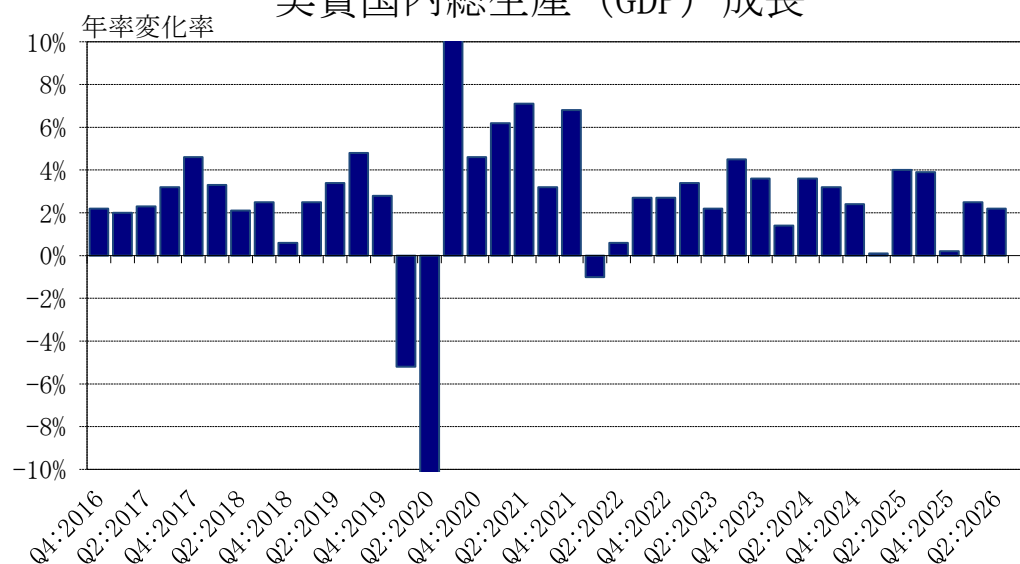
Executive Cotton Update

毎日の綿花価格と通貨データ
10月 2026



日足綿花価格	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	7月	8月	9月		
NY期近物相場	84.2	71.9	79.2	81.3	78.6	85.2	81.0	セント/ボンド	ICE
A-インデックス	95.3	83.1	90.7	92.9	88.9	95.9	95.2	セント/ボンド	Cotlook
日足為替統計	近年平均				直近月			データ単位	情報元
	5年	1年	6ヶ月	3ヶ月	7月	8月	9月		
貿易加重ドル指数	121.00	121.85	119.39	119.32	120.81	119.06	118.07	Index, January 1997=100	Federal Reserve
アジア通貨									
中国人民元	6.98	7.11	6.78	6.75	6.80	6.75	6.71	中国人民元/米ドル	Reuters
インド・ルピー	84.12	87.17	94.48	94.89	94.97	95.21	94.49	インド・ルピー/米ドル	Reuters
日本円	143.62	151.75	158.44	158.06	161.93	157.94	154.31	日本円/米ドル	Reuters
パキスタン・ルピー	258.64	279.88	278.26	277.79	278.03	277.63	277.73	パキスタン・ルピー/米ドル	Reuters
北米&南米通貨									
ブラジル・レアル	5.28	5.35	5.09	5.12	5.14	5.09	5.13	ブラジル・レアル/米ドル	Reuters
カナダ・ドル	1.35	1.38	1.39	1.40	1.42	1.39	1.38	カナダ・ドル/米ドル	Reuters
メキシコ・ペソ	18.79	18.37	17.32	17.18	17.48	17.14	16.91	メキシコ・ペソ/米ドル	Reuters
ヨーロッパ通貨									
英国ポンド	0.78	0.77	0.74	0.74	0.75	0.74	0.74	英国ポンド/米ドル	Reuters
ユーロ	0.91	0.90	0.86	0.87	0.87	0.87	0.86	ユーロ/米ドル	Reuters
スイス・フラン	0.88	0.84	0.80	0.81	0.81	0.81	0.81	スイス・フラン/米ドル	Reuters
トルコ・リラ	29.78	37.75	46.49	47.66	46.84	47.70	48.43	トルコ・リラ/米ドル	Reuters

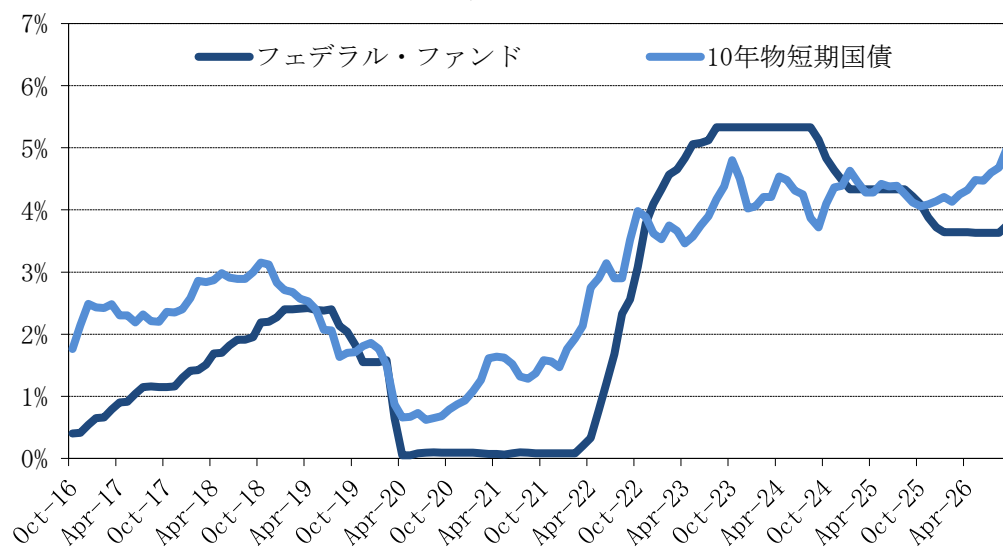
実質国内総生産（GDP）成長



出所：米国商務省

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国金利



出所：米国商務省

米国インフレ率 - FRBが政策目標とするコアPCE価格指数

前年比の物価変動（エネルギー・食品除く）

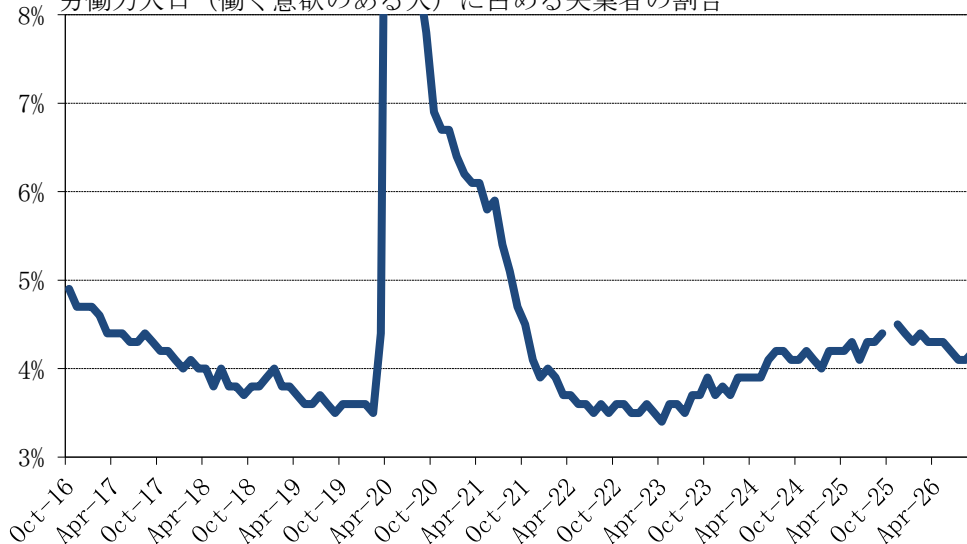


出所：米連邦準備制度理事会

注：米連邦準備制度理事会（FRB）のインフレ率目標は2%

完全失業率

労働力人口（働く意欲のある人）に占める失業者の割合

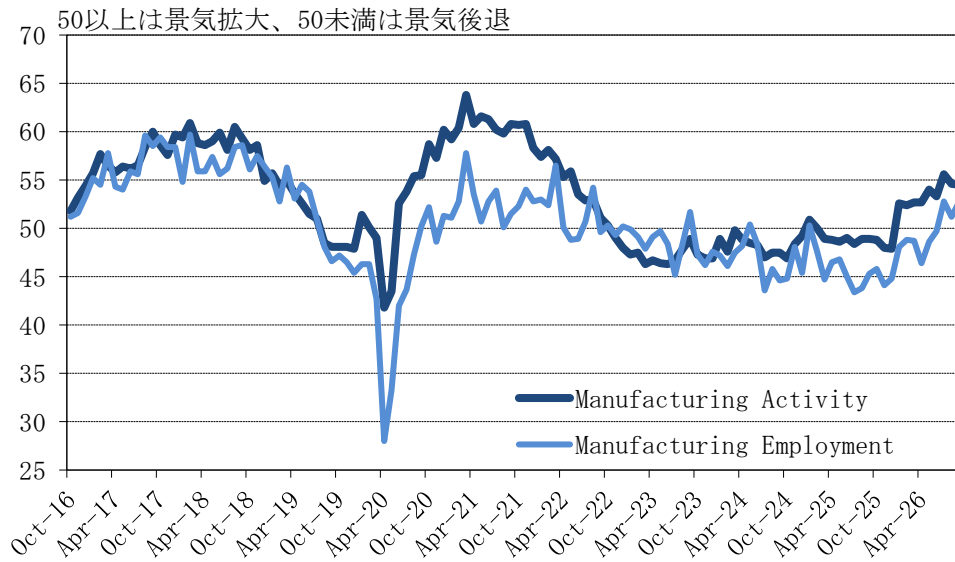


出所：米国労働統計局

注：FRBは物価の安定だけでなく、持続可能な雇用最大化の責務を負う。

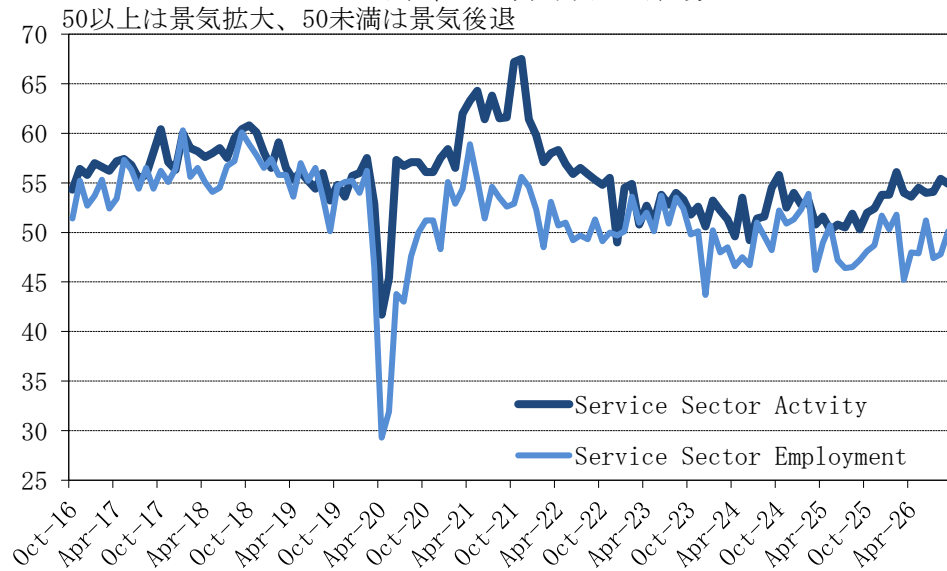
注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

ISM 製造業景気指数



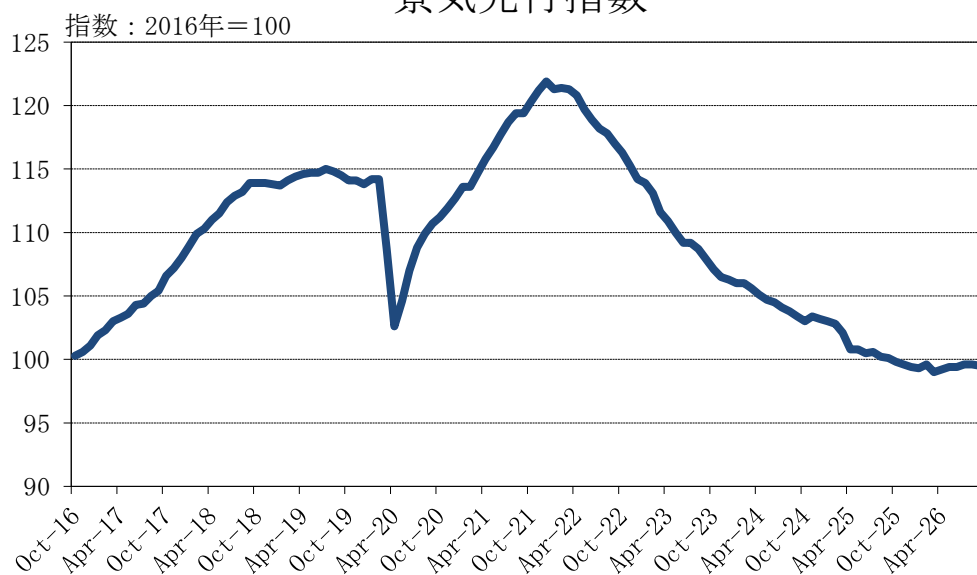
出所：全米供給管理協会（ISM）

ISM 非製造業景気指数



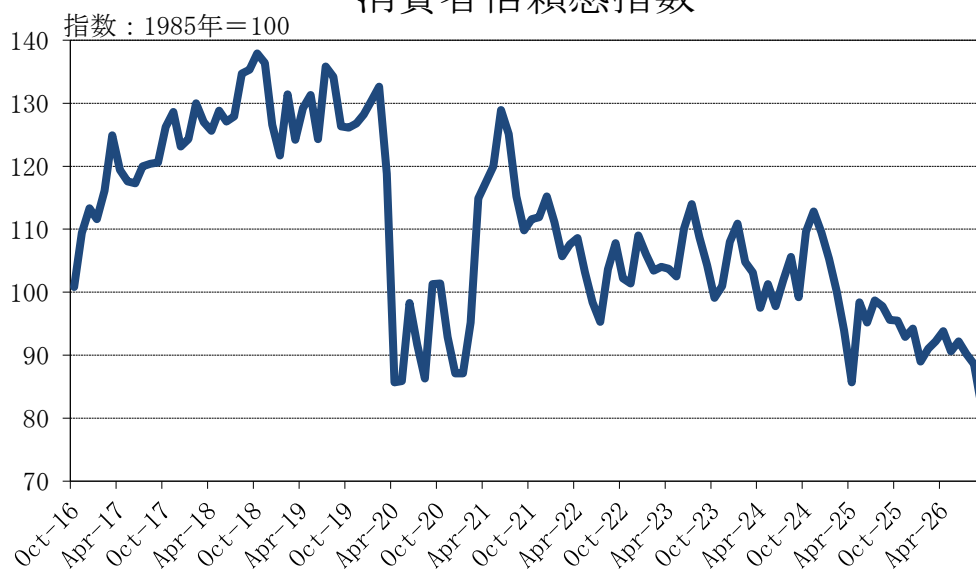
出所：全米供給管理協会（ISM）

景気先行指数



出所：全米産業審議会

消費者信頼感指数



出所：全米産業審議会

住宅着工戸数



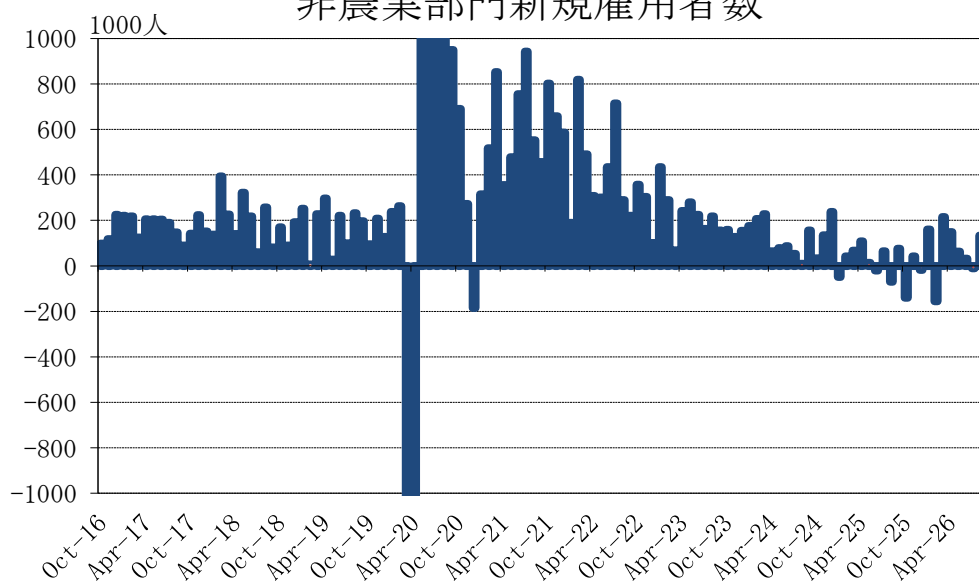
出所：米国商務省

中古住宅販売戸数



出所：米国商務省

非農業部門新規雇用者数



出所：米国労働統計局

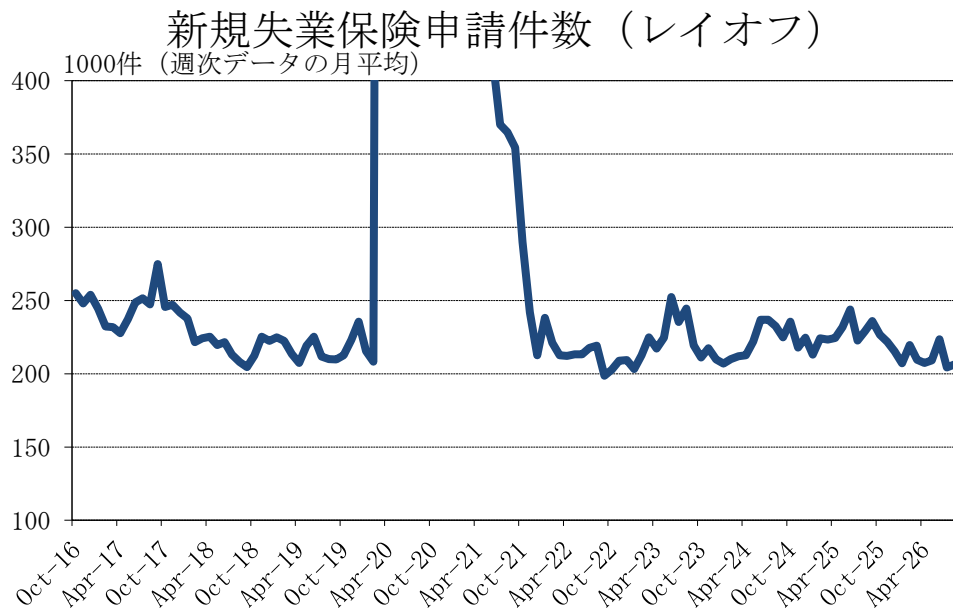
注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

求人が埋まらなかった企業の割合



出所：全米独立企業連盟（NFIB）

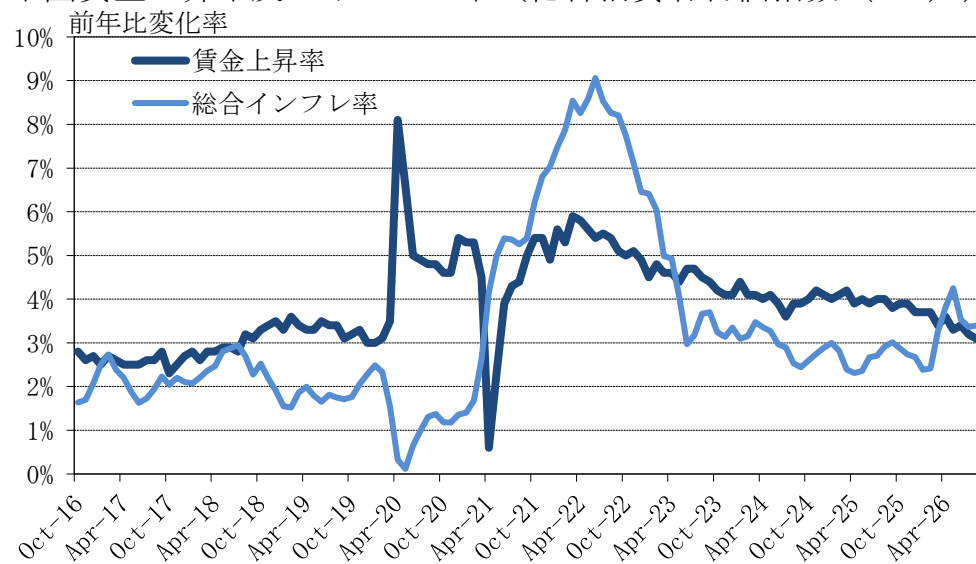
注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略



出所：米国労働省

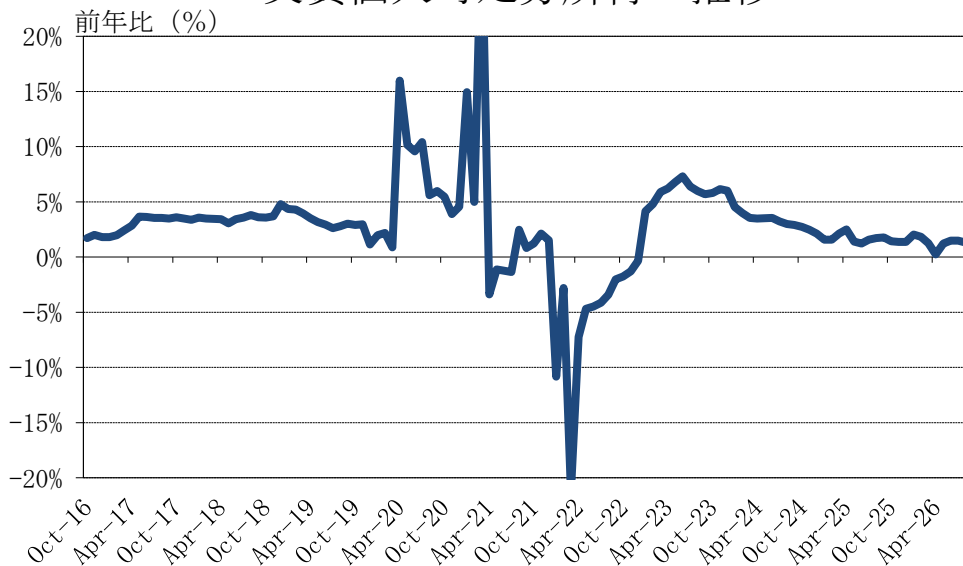
注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国賃金上昇率及びインフレ率（総合消費者物価指数（CPI））



出所：米国労働統計局

実質個人可処分所得の推移



出所：米国経済分析局

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

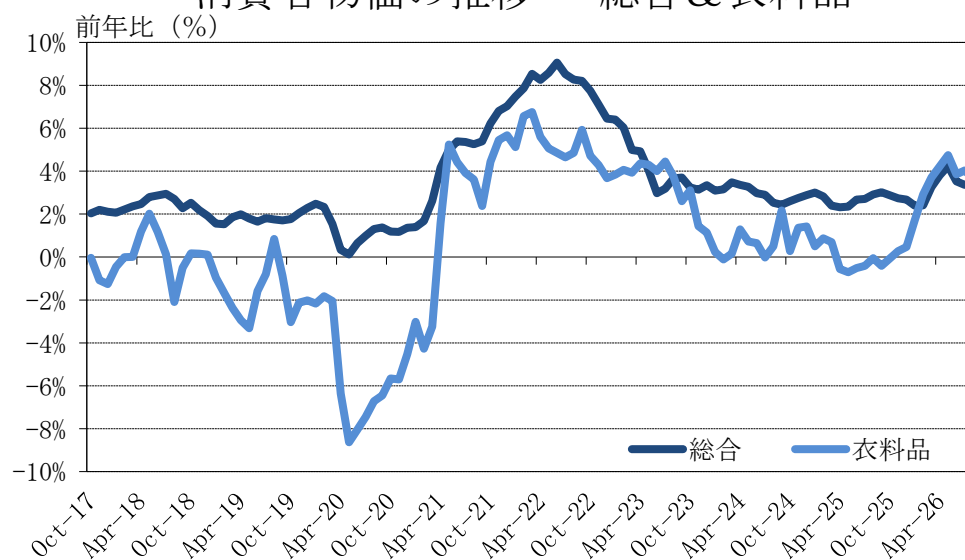
貯蓄率



出所：米国労働統計局

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

消費者物価の推移 - 総合&衣料品



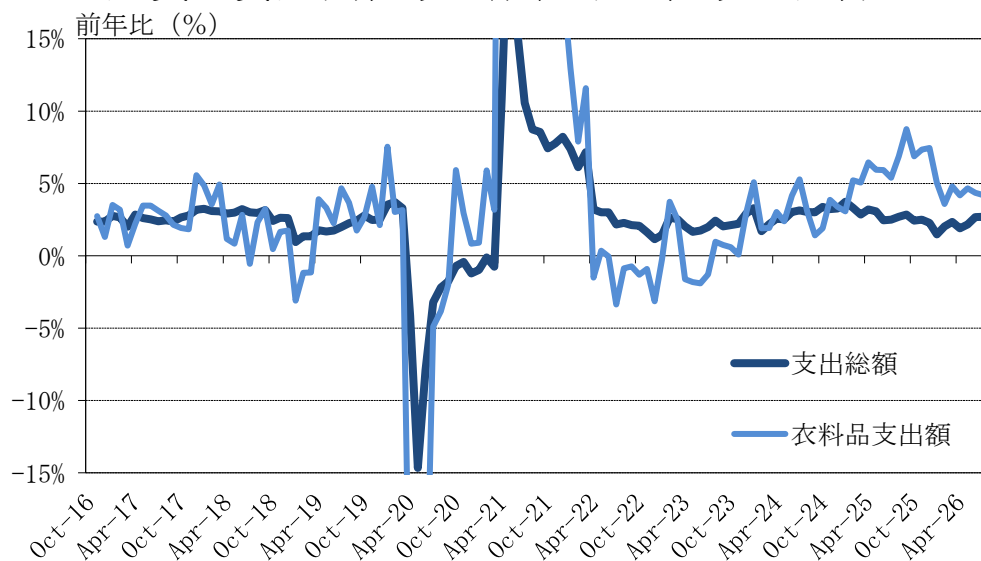
出所：米国労働統計局

米国衣料品消費者物価指数



出所：米国労働統計局

実質消費支出総額の成長率－総額&衣料品



注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国実質消費支出 衣料品

10億ドル（2017年からの連鎖方式、季節調整済年利率）

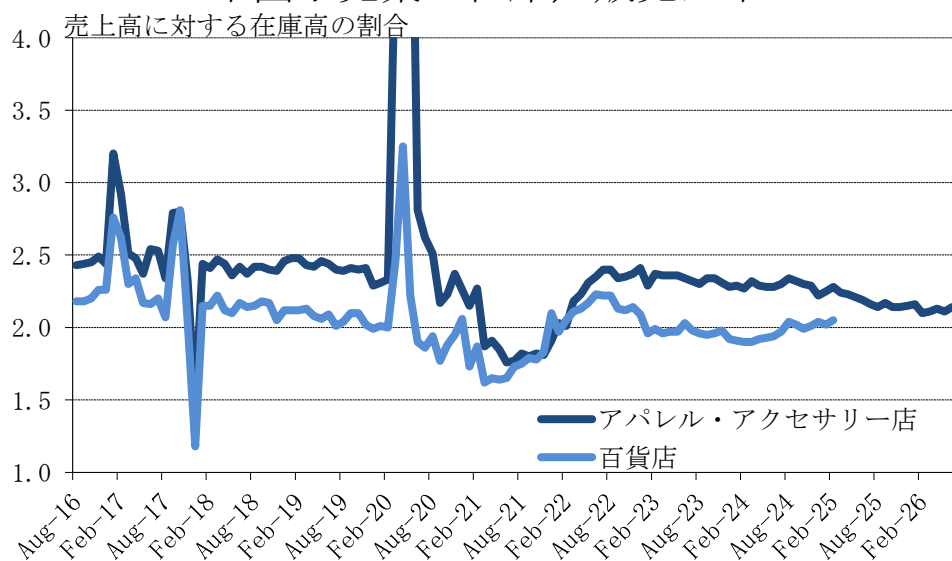


出所：米国経済分析局

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

[目次](#)

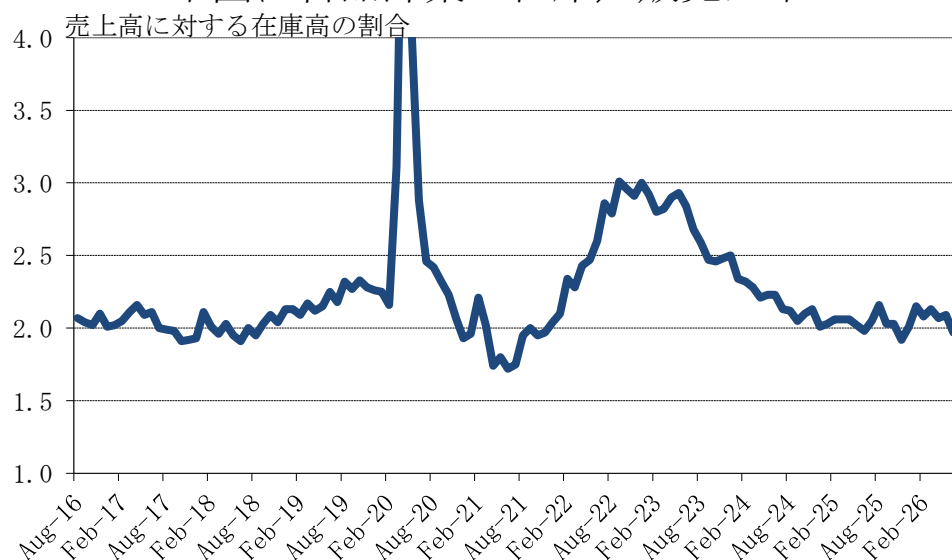
米國小売業の在庫／販売比率



出所：米国商務省

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国衣料品卸業の在庫／販売比率



出所：米国商務省

注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国綿リッチ製品輸入量



出所：OTEXA （コットンインコーポレイテッドによる季節変動調整済）

米国綿リッチ製品平均輸入価格



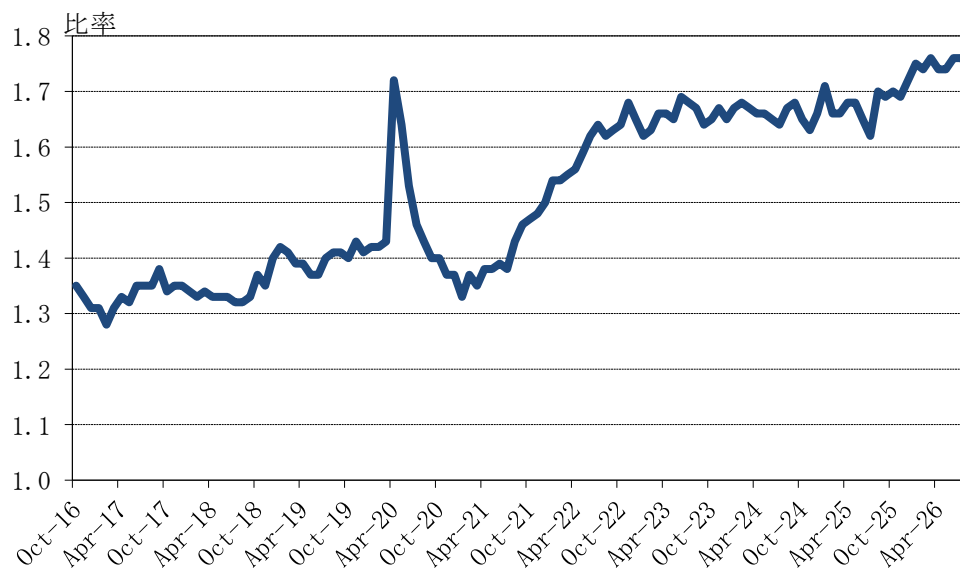
出所：OTEXA （コットンインコーポレイテッドによる季節変動調整済）

米国工業生産指数－総合及び繊維



注：通常の推移を把握するためコロナ禍活動制限時期の極端な部分は省略

米国紡績の在庫／出荷比率



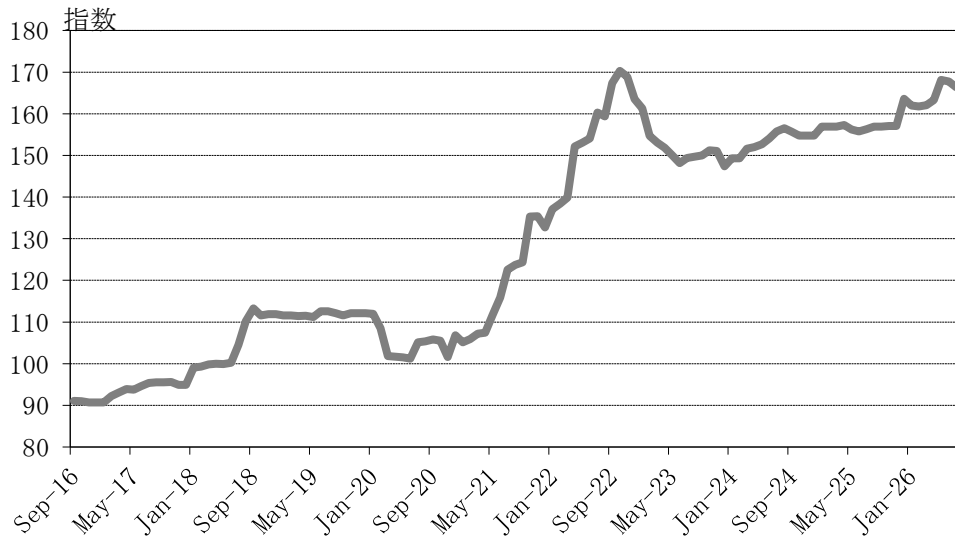
出所：米連邦準備制度理事会

米国の綿糸と綿生地の輸出額



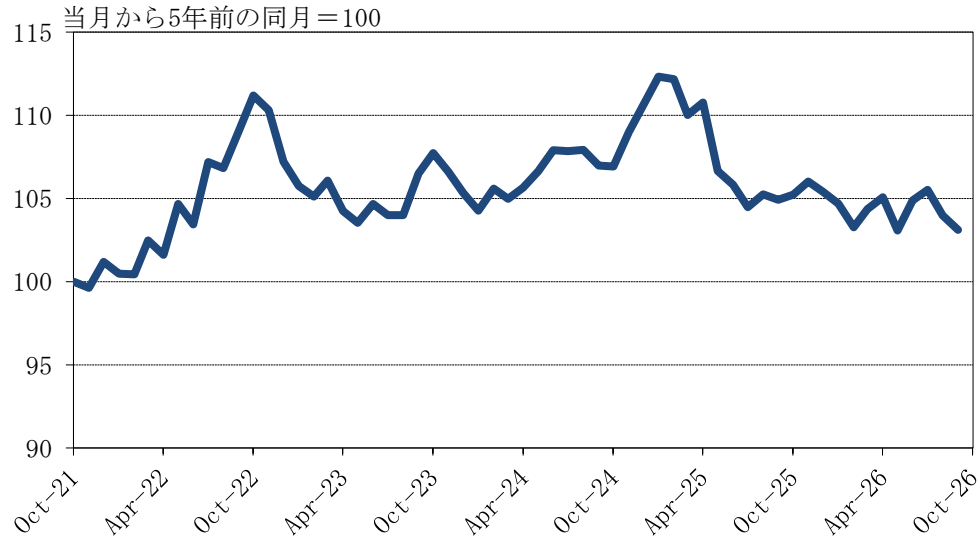
出所：米国農務省（USDA）

ポリエステル繊維生産者価格指数



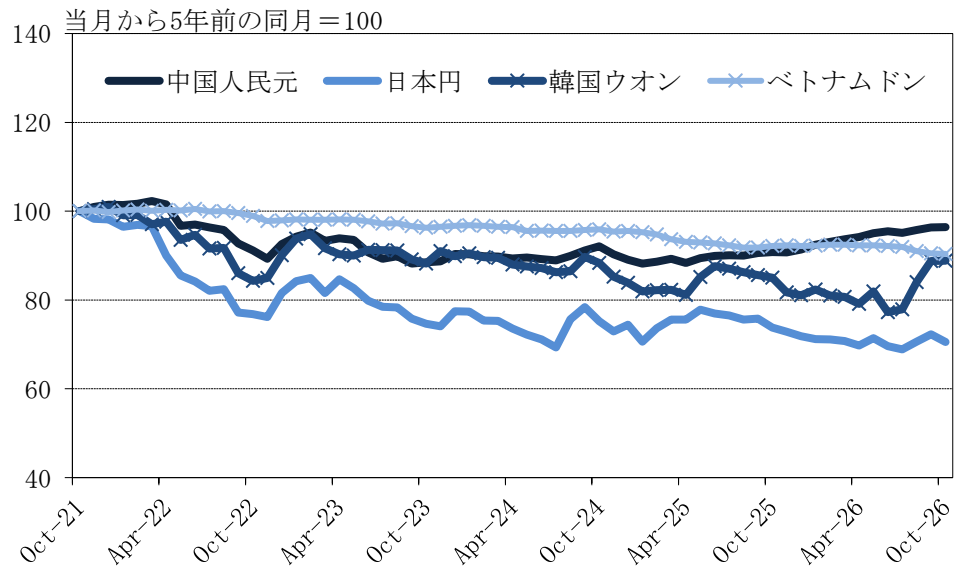
出所：米国労働統計局

貿易加重米ドル指数



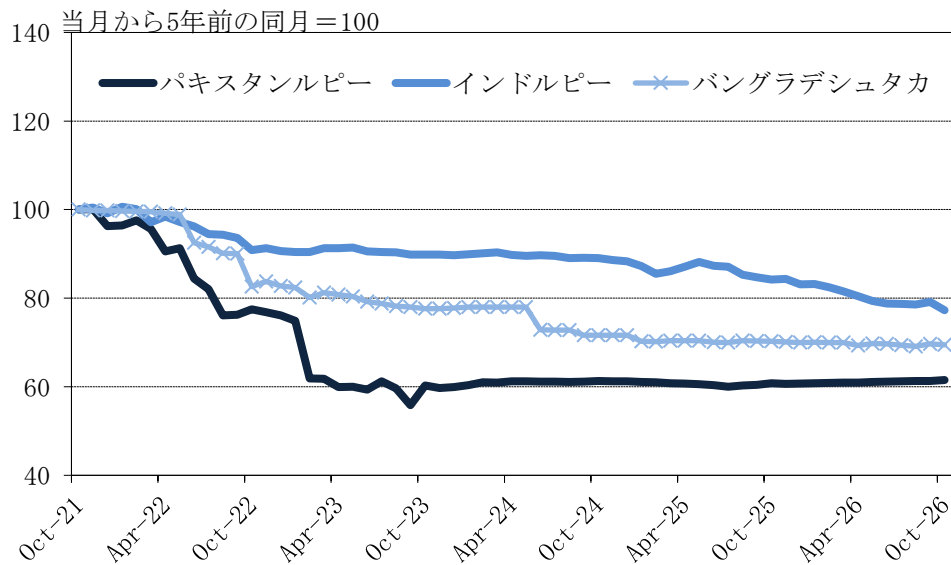
出所：米連邦準備制度理事会

東アジア通貨の対米ドル指標



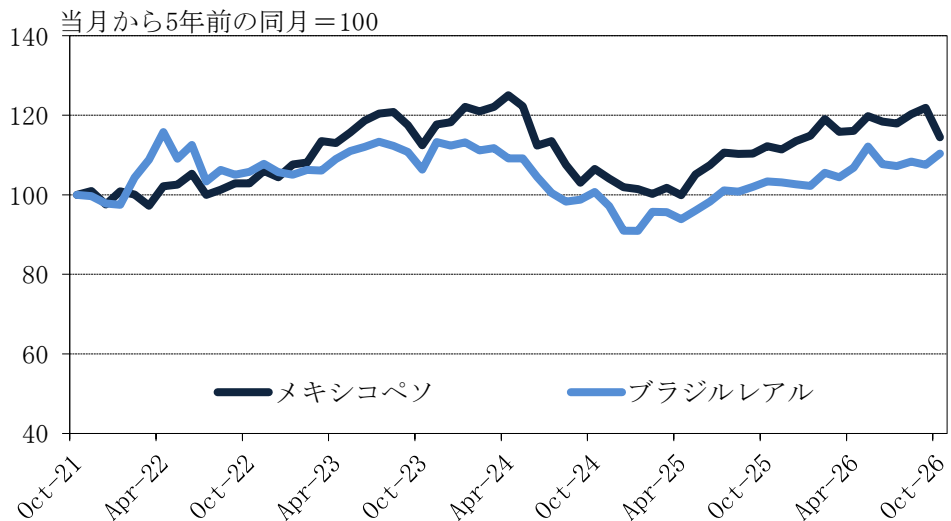
出所：ロイター

南アジア通貨の対米ドル指標



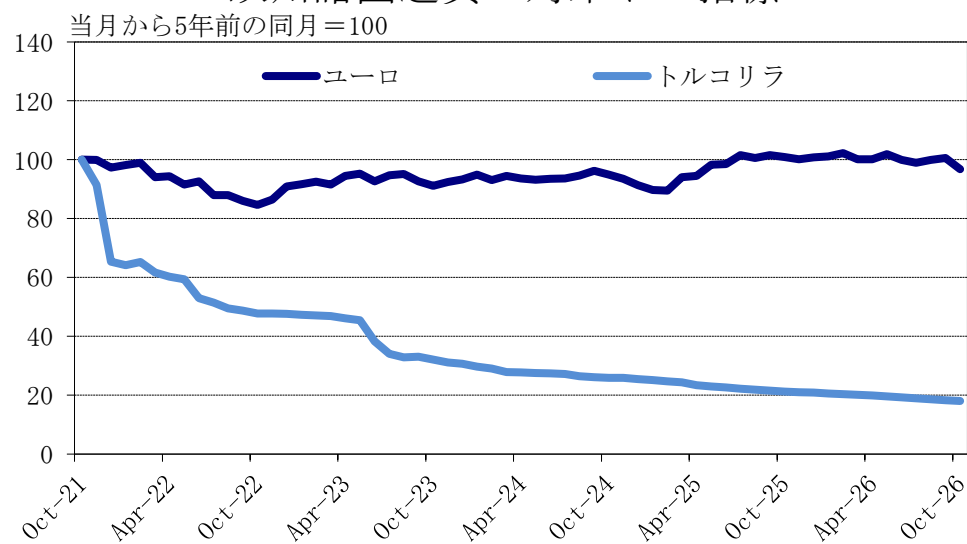
出所：ロイター

北米&南米通貨の対米ドル指標



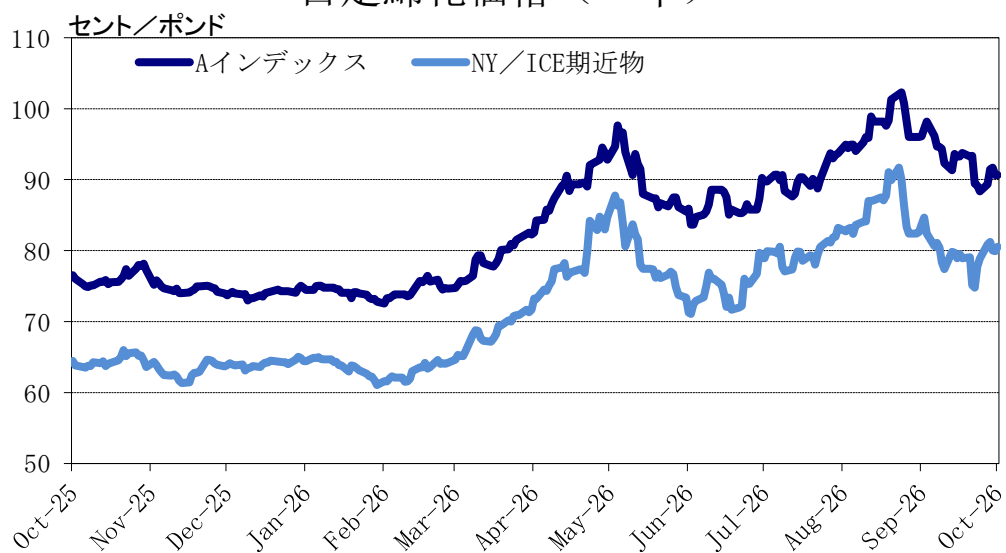
出所：ロイター

欧州諸国通貨の対米ドル指標



出所：ロイター

日足綿花価格（一年）



出所：コットン・アウトLOOK及びロイター

注：綿花の供給、需要、相場の詳細については、[経済月報をご覧ください。](#)

[目次](#)